Z33 VQ35DE
エキゾーストマニホールド
取り付け解説書

目次

本書について

本書は、販売店様が「EXPREME」ブランドの商品を販売するにあたり、事前に作業内容を確認し、
取り付け時間、取り付け工賃などを把握出来ることでユーザー様に自信を持ってお勧めいただけるように
ご用意致しました。
本書をご活用いただくことで、正確な御見積書を容易に作成していただける事と思います。

EXPREME（エクスプリーム）

EXHAUST(排気) と SUPREME(非常に優れた)を掛け合わせた造語で、
4つのコンセプトから創られています。

PERFORMANCE

妥協を許さない、徹底的テストによる性能を追求。

QUALITY

高品質材料、高技術生産と徹底した製品管理による、高品質を提供。

SATISFACTION

取り付け説明書の充実、販売店様用の取り付け解説書、バンテージ付属、
出荷レスポンス迅速化など顧客満足度を追求。

GOOD PRICE

多くのお客様に高性能を体験して頂きたい、そのための価格設定。

取り付けに必要な工具類

取付には左記の工具類の他、取り付け方法や現車状態により他の工具が必要になります。

①潤滑剤
②TOMEIボルトスムースペースト
③マイナスドライバー
④モンキーレンチ
⑤ウォーターポンププライヤー
⑥ニッパー
⑦板ラチェット　12−14
⑧コンビレンチ　12
⑨コンビレンチ　14
⑩メガネレンチロング　14−17
⑪スピンナーハンドル
⑫ユニバーサルジョイント
⑬六角ソケット ８（ボールジョイント）
⑭ソケット各種　8・10・12・14
⑮トルクレンチ
⑯ラチェット
⑰取扱説明書

製品の確認

下記の内容、数量が揃っているかを確認して下さい。

① エキゾーストマニホールド本体
② 取扱説明書
③ フランジボルトM10×1.5　2本
④ フランジナット 2個
⑤ ガスケット　（ヘッド−EXマニ間）
⑥ ガスケット　（EXマニー触媒コンバーター間）
⑦ サーモバンテージ　50㎜×15m
⑧ 留め金　20set
⑨ バンテージバンド 8㎜×6m

作業前の注意

・本品は自動車競技専用部品です。サーキットや公道から閉鎖されたコース内に限って使用して下さい。

・本品の取付は特別の訓練を受けた整備士が、設備の整った作業場で実施して下さい。

・指定する車種以外への取付はおやめください。本品および、エンジンを破損する恐れがあります。

・取り付けの際は適切な工具、保護具を使用しないと、けがにつながり危険です。

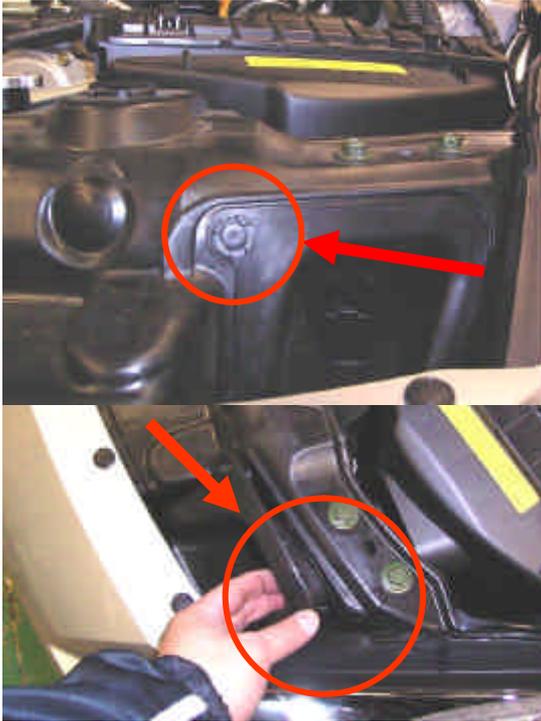
周辺部品の取り外し

1. 作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外します。

2. タワーバー、エンジンカバーを外します。

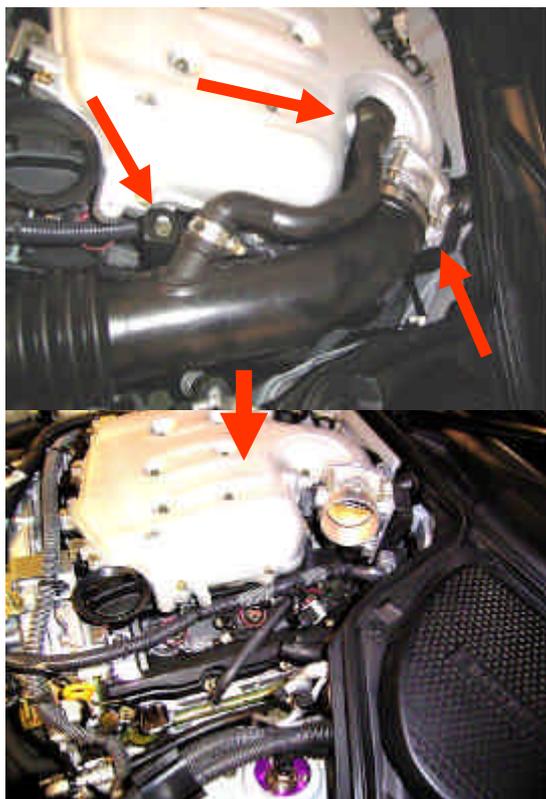
3. エアフロカプラーを外し、ホースバンドを緩めます。

周辺部品の取り外し

4.　クリーナー前面のクリップを外し、エアダクトをずらします。

5.　クリーナーボックスを固定しているボルトを外し、
エアフロからホースを抜き、クリーナーボックスを外します。

・クリーナーボックス下側2ヶ所がボディーに差して有るだけ
なので、そのまま上に取り外せます。

周辺部品の取り外し

6. スロットルの所のホースバンドを緩め、ボルトを2ヶ所外し、サクションパイプを外します。

7. リフトアップしアンダーカバーを前後とも外します。

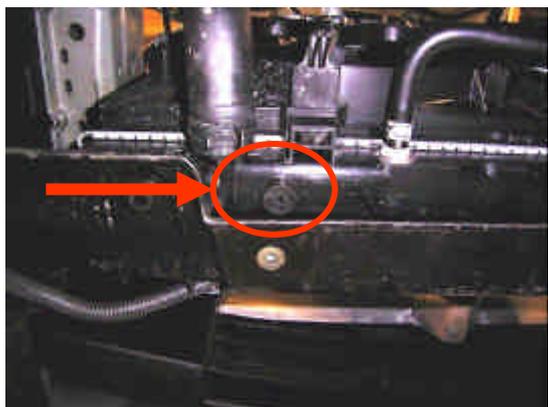
周辺部品の取り外し

8. 左右触媒コンバーター、トランスミッション間のブラケットを外す。

9. リヤO2センサーカプラーを外す。

・この際、左右センサーの判別がつくようにしておきます。

10. 左右触媒コンバーターを外します。
潤滑剤を塗布してから外して下さい）

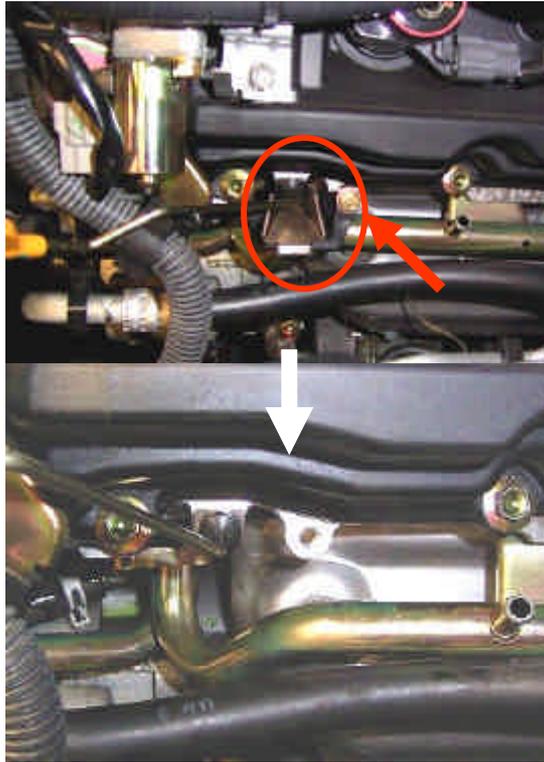
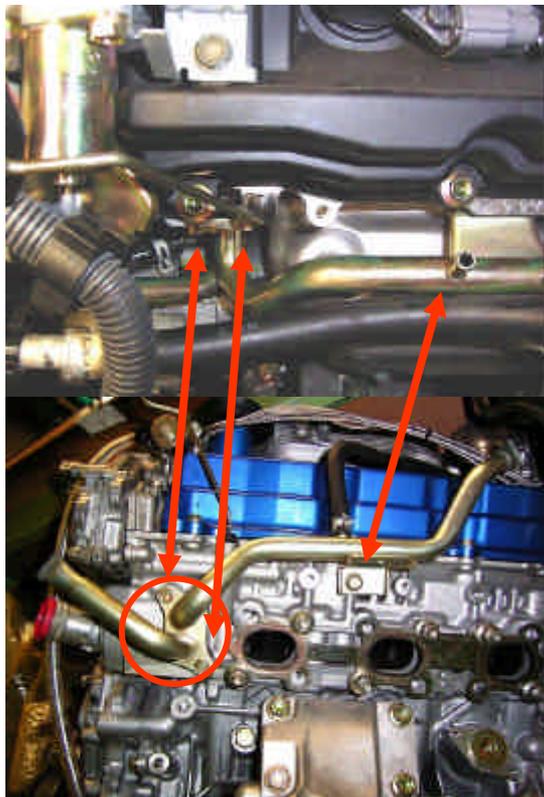
周辺部品の取り外し

11.　ラジエタードレンボルトを外し、クーラントを抜きます。

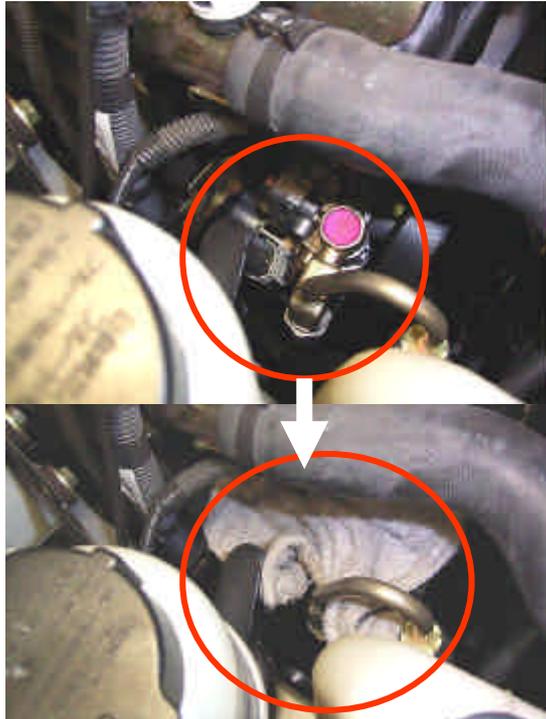
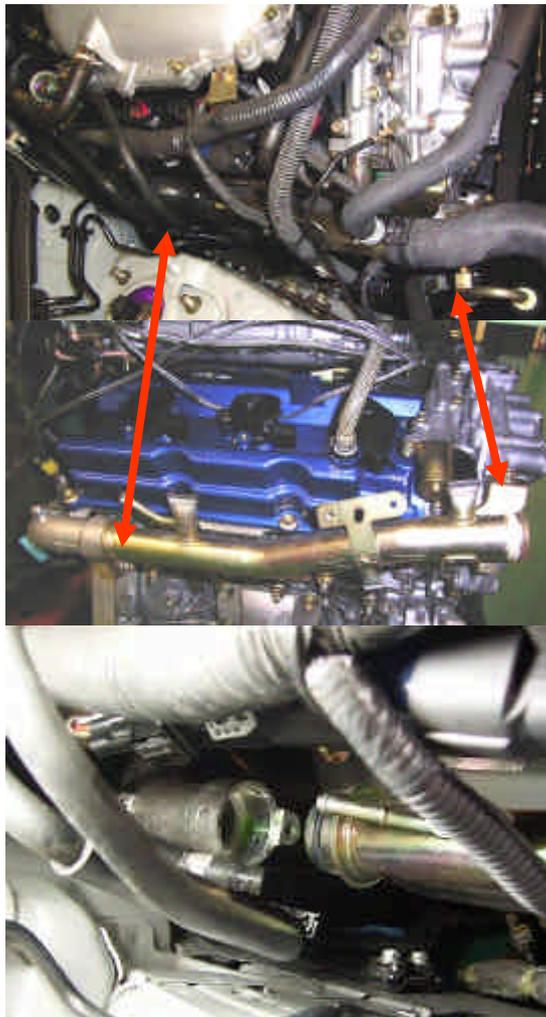
・クーラントを再利用する際は、きれいなパレット等を使用して下さい。

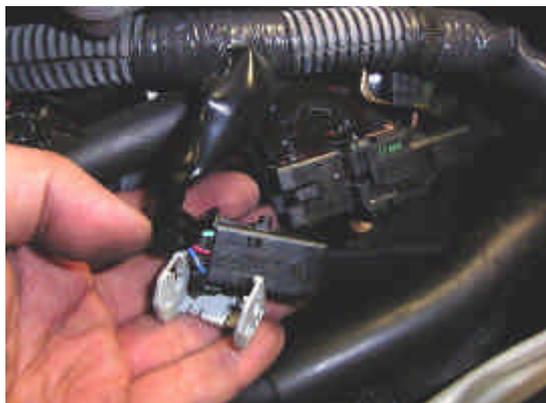
・ドレンを外す際、必ずラジエターキャップを閉めた状態で行って下さい。ラジエターキャップが開けた状態でドレンを外すとクーラントが勢いよく飛び出し、火傷をする恐れが有ります。

12.　ラジエターキャップを外し、クーラントを抜きます。

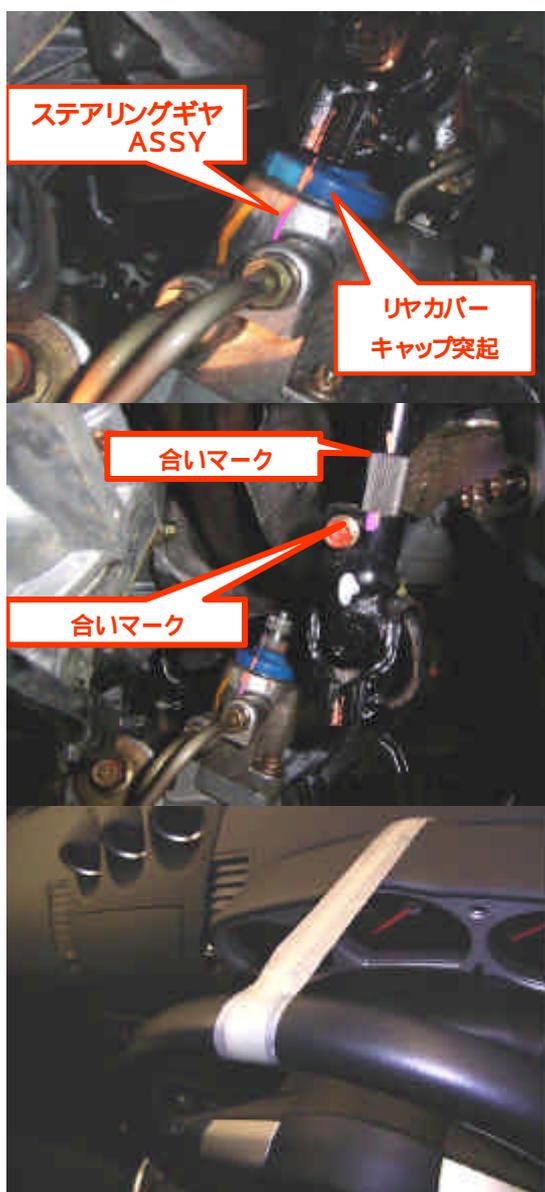
13.　クーラントを抜き終わったら、ドレンボルトを閉めておいて下さい。

周辺部品の取り外し

14. 矢印のボルトを外し、オイルレベルゲージのガイドを外します。

15. 左バンク側のウォーターパイプのホースを抜き、矢印の3ヶ所のボルトを外し、パイプ本体を取り外します。外す際、丸印のフランジ部分にガスケットが有るので、落とさないように注意して下さい。

周辺部品の取り外し

16. クーラントホース下に有るオルタネーターにクーラントがかからないように、ウエス等で保護しておきます。

17. 右バンクのクーラントパイプにつながるホースを抜き、矢印の2ヶ所のボルトを外しパイプを外します。

周辺部品の取り外し

18.　フロントO2センサーのコネクターを左右外します。

19.　右バンク側のハーネスを固定しているステーのボルト2本を外しておきます。

周辺部品の取り外し

20. ステアリングホイールを直進状態にしたとき、ロアジョイントのスリット部とリヤカバーキャップ突起の位置が一致し、かつステアリングギヤASSYのマーキング位置と一致している状態にし、下側のボルトを外し、上側のボルトを緩め、ジョイントをステアリングギヤASSYから外します。

・ズレたままの取り外し、取り外し後のステアリングホイール及びステアリングシャフトを回転させる等は絶対に行わないで下さい。
エアバックケーブルの破損、ステアリングのセンターズレ、及びVDC制御に影響を与え、重大な事故につながる恐れが有ります。
・ステアリングの位置ズレが確認出来るように、写真のようにガムテープ等でテーピングし固定しておいて下さい。

純正エキマニの取り外し

21. 左右エキマニ遮熱板のボルトを外しておきます。
遮熱板は、後からエキマニ本体と一緒に取り出します）

22. 純正エキマニのナット部分に潤滑剤を塗布し、左右各６本外します。

・ナットを外す際、スタッドボルトが抜けてしまった場合は、12.7～16.7N・m（1.3～1.7kgf-m）で取り付けて下さい。

純正エキマニの取り外し

23. 左バンク側は、遮熱板を抜き取り、純正エキマニを外します。

24. 右バンクは、ステアリングシャフトを避けながら、エキマニをずらし遮熱板を抜き取り、純正エキマニを外します。

製品の取り付け

25.　サーモバンテージを巻く前に、水に浸しておきます。
こうすることで巻き易くなる上、乾くとバンテージが締まります。

26.　エキマニをバイスにくわえ、サーモバンテージを巻きます。

・その際、フランジに傷がつかないように、ウエス等で保護してください。

27.　しっかり締め込みながら巻き付けて行きます。

28.　ある程度巻いたところで、エッジを留め金で固定します。
（手を切らないように注意してください。）

製品の取り付け

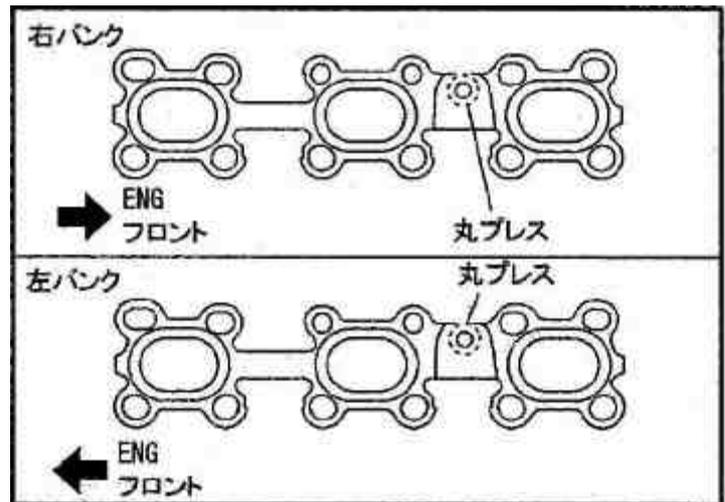
29.　全て巻き終えたら、エッジを留め金で固定します。

29.　純正エキマニからO2センサーを外します。
左右分かるようにしておいて下さい。

30.　29で外したO2センサーのネジ部に、TOMEIボルトスムースペースト等を塗布し、左右間違えないようにO2センサーをエキマニに組み付けます。

製品の取り付け

31.　ヘッド側にガスケットをはめ、スタッドボルトにTOMEIボルトスムースペースト等を塗布しておきます。

・この際ガスケットの向きに注意してください。（下図参照）

32.　エキマニ本体を取り付けナットを仮締めし、O2センサーのカプラーを上から取れるようにしておきます。

製品の取り付け

33.　エキマニのナットを本締めします。

締め付けトルク28.5～32.4N・m（2.9～3.3kgf-m）

現車復帰

34.　左右のフロントO2センサーコネクターを接続します。

35.　右バンクのハーネスを固定するステーのボルト2本締めます。

36.　ステアリングロアジョイントを合いマークに合わせステアリングギヤASSYに取り付けます。

37.　上下ボルトをトルクレンチを使用し締めます。

締め付けトルク23.5～29.4N·m（2.4～2.9kgf-m）

現車復帰

38.　左右触媒コンバーターを組み付けます。
この際、ボルト類にTOM'Sボルトスムースペースト等を塗布しておきます。

39.　左右触媒コンバーター、トランスミッション間のブラケットを取り付け、O2センサーのコネクターを取り付けます。

40.　左右のウォーターパイプを組み付けます。
この際、右バンク側のパイプのOリングにラバーグリスを塗布してください。

41.　レベルゲージを浮かして、レベルゲージガイドを取り付けます。

現車復帰

42. サクションパイプ、クリーナー、タワーバーを元に戻します。

43. エアフロコネクターを接続します。

44. エア抜きプラグを緩めておきます。

45. ドレンプラグが閉まっていることを確認し、ゆっくりクーラントを注入します。
エア抜きプラグからクーラントが溢れたらエア抜きプラグを閉め、キャップいっぱいまでクーラントを注入します。

現車復帰

46. バッテリーをつなぎ、エンジンを始動し暖気、クーラントを回します。
この時、同時に排気漏れが無いか確認してください。

47. 排気漏れが無ければ、アンダーカバーを元に戻します。
クーラントのエア抜き、配線の干渉などを確認し、問題なければ作業終了です。